

別表 主な環境の要素と留意点

環境要素		留意点
海域環境	波浪	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象条件で大きく変動するため、長期間蓄積された過去の観測結果を用いることが望ましい。</li> <li>平常時の状態に加え激浪時の状態を把握することが望ましい</li> </ul>
	流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>潮流が卓越する場所では大潮、小潮に注意が必要</li> <li>陸からの負荷があるような場所では、流れの滞留が発生しないように注意が必要</li> <li>その他、海域における潮流の特性を把握</li> </ul>
	水質・底質	<ul style="list-style-type: none"> <li>内湾においては、最も水質が悪化し底層の貧酸素化が進む夏季に注意が必要</li> <li>干満が大きな場所では潮汐に注意が必要</li> <li>水底土砂の舞い上がり（濁り）が水生生物に影響を及ぼすので注意が必要</li> <li>使用材料が水質に影響を及ぼす場合があるので注意が必要</li> </ul>
地形	海岸地形 海底地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形の変化は、生物の生息空間そのものを減少・消失させるほか、周辺の波浪や流れ、水質底質等に影響を及ぼすので注意が必要</li> </ul>
大気環境	騒音・振動 排気ガス 粉塵	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音・振動は特に夜間の注意が必要</li> <li>工事車両の走行や建設機械の稼働により周辺の大気に影響を及ぼすので注意が必要</li> </ul>
生物・生態系	水産動植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果、既存文献の確認</li> <li>夜間照明による生物生息環境への影響に注意が必要</li> </ul>
	希少生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>成熟期や産卵期、稚仔魚期に注意が必要</li> </ul>
	藻場	<ul style="list-style-type: none"> <li>海藻の成熟期、成長期、胞子や遊走子の放出期に注意が必要</li> </ul>
	干潟	<ul style="list-style-type: none"> <li>大潮や小潮などの潮汐並びに時期、時間に注意が必要</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料や資材について海藻の付着などを考慮することが必要</li> </ul>
環境負荷	排水	<ul style="list-style-type: none"> <li>養殖施設、中間育成施設や蓄養施設が港内若しくは漁港に近接する場合には、それら施設への排水の影響について特に注意が必要</li> </ul>
	廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事に伴い発生する廃棄物や建設副産物については、廃掃法、建設リサイクル法等に基づき、再利用若しくは適切な処分に努め、環境の負荷削減が必要</li> </ul>
その他	漁業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁期（採取時期・養殖時期）等との重複について注意が必要</li> <li>漁村集落の日常生活への配慮が必要</li> </ul>
	レクリエーション等	<ul style="list-style-type: none"> <li>海水浴や潮干狩り等の海洋性レクリエーションの時期、利用実態に注意が必要</li> <li>観光地や景勝地の利用実態等に対し注意が必要</li> </ul>